

GREEN RADAR

Vol.482
2019

7

Contents

A-Policy【重点事業方針】

- ・令和元年度 販売流通企画課重点方針
- ・令和元年度 EneKey展開への取組み
- ・クミアイ家庭薬「配置員全体会議」

A-Reports

- ・令和元年度 長野県青果物・花き取引会議 4
- ・酒米の新品種 信交酒545号（山恵錦）本格デビュー 5
- ・ギネス参加認定書を拝受 SDGsで企業と連携 5
- ・松本山雅FCホームゲームで牛乳をPR 6月1日は「牛乳の日」 6
- ・松本山雅FCホームゲームに御嶽海関登場 カレーちゃんご鍋を振舞い 6

JA改革Reports 平成30年度自己改革の活動報告

- ・農業生産用燃料への支援対策強化について 7
- ・新採用職員紹介 8

A-Board

- ・長野県JA産きのこキャンペーン開催中! 8
- ・「JA農機&資材フェスタ2019」のご案内 9
- ・第51回信州フラワーショーサマーセレクション 9
- ・出羽海部屋が木曾合宿 県産農畜産物を贈呈 10
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・7月の動き 10
- ・7月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



販売流通
企画課

令和元年度販売流通企画課重点方針

JA全農長野販売流通企画課は農業所得増大に向け、長野県農産物の売り場拡大と信州ブランドの信頼を高めるための総合宣伝事業の展開、新たな電子商取引や輸送事業に取り組み、集出荷施設と輸送の効率化による物流コスト抑制策の構築を進めるために、昨年度までの生産販売企画課を発展的に組織改編し新たに設けられた課です。

本年度における販売流通企画課の重点方針は次のとおりです。

- ①物流関連調査を通じて効率的な輸送体制の検討・推進を進めます。
集出荷実態の把握による効率的な集出荷体制の検討を進め、パレット輸送とモーダルシフトについて試験的な取り組みを行います。また、生産販売部内の各品目課が取り組む出荷資材の統一を支援し、部門間の調整を行います。
- ②eコマース(電子商取引)サイトを活用したマーケティングに取り組みます。
ネットによる商品紹介機会を創出し、サイトへのアクセスデータを活用し商品開発に反映します。
- ③販売拡大に向けた情報提供と支援活動を行います。
長野県農産物等輸送事業者協議会に参画し、輸送関連情報を収集し情報の産地内共有と活用を進めます。また、オファーに対する窓口対応機能を高め、販路の拡大を進めます。営業支援システムの開発により、営業活動の効率化と情報の共有化をはかります。
- ④販売力強化のため有効な総合宣伝事業を実施します。
長期的な戦略に基づくブランディングにより、認知度を高めて本県産の需要を喚起します。効果的な新たな宣伝手法の研究を行い、総合品目



輸送イメージ(モモ)



輸送イメージ(レタス)

- ⑤関係職員のスキルを高めます。
若手職員の育成を目的とした研修会の実施を通じて、知識のボトムアップをはかります。
- ⑥2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた国際水準GAP取得を推進します。
JGAP指導補助人材を育成し、大会向け農産物の生産対応を進めます。



総合品目による販売促進

SS協同経営課

令和元年度EneKey展開への取組み

令和元年度、SS協同経営課の重点施策の一つとして「EneKey」の展開を7月より行います。

2017年の元売統合によって、ENEOSは全国SS数の約4割を占め、長野県内では約5割がENEOSマークとなりました。7月からは同じブランドを掲げたSSの顧客囲い込みが一層進みます。

EneKeyとは、支払いをワンタッチで済ませることができる非接触決済ツールです。

車のキーなどに付けられるキーホルダータイプで、お手持ちのクレジットカードで登録(紐づけ)を行い、計量機にかざすだけでカードがなくても決済ができます。

発行費用無料・年会費無料、安心の紛失・盗難補償付き、Tポイント付与などの特徴があり、お客様に大変メリットのある決済ツールです。(一部登録できないクレジットカードがあります)

以前はスピードパスとして限られたSSで使用可能でしたが、7月以降は「EneKey」としてENEOSマークのセルフSS全店で使用可能となります。

SSとしても、審査不要で会員獲得が容易、一会員当たりの給油量アップ、高い固定化率、発行費用無料、さらに単価設定も行うことで独自の施策を展開できます。

協同経営のセルフSSではEneKeyの展開に向けて、EneKey専用タブレットの導入、SSスタッフへの操作説明と知識を共有し、本年度EneKey発行11,100個を目標として取組みを行います。

令和元年度、協同経営SSはJA・SSらしさをもって新しい波に乗ります。



この小ささでワンタッチ支払いができます

や品目を横断した販売促進企画を実施します。

⑤関係職員のスキルを高めます。

若手職員の育成を目的とした研修会の実施を通じて、知識のボトムアップをはかります。

⑥2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた国際水準GAP取得を推進します。

JGAP指導補助人材を育成し、大会向け農産物の生産対応を進めます。



挨拶をする両宮組合長

JA全農長野生産販売部は5月31日（金）、長野市内で青果物・花き取引会議を開催しました。県内2社を含む青果・花きの主要卸売会社23社の代表、長野県から阿部守一知事、山本智章農政部長ほか農政関係者、JA側からは全農長野の両宮勇運営委員会会長、豊田実同副会長、小林哲男県本部長、県内JA組合長・理事長など、総勢91名が出席しました。

この会議は、長野県産ブランドの販売強化による農家手取りの安定化の推進及び卸売会社との強いパートナーシップを構築するため、出荷が本格化するこの時期に開催しています。

両宮会長は主催者挨拶の中で「JA全農長野は本年度生産販売部の取扱目標を1,584億円とした。この目標達成のため、安全安心で新鮮な信州ブランドの確立を基本に、実需者ニーズと流通の多様化に対応できる商品開発と生産基盤造り、並びに販売力の強化に取り組む」と述べました。阿部知事からは「農業・農村の振興無くしては、

長野県の発展はない。農業・農村を元気にしていく上で、生産地は品質の優れた農産物を作っていくことが重要と考える。皆様には、私も長野県の農業が更に発展できるようお力をお貸し頂きたい」と協力を求めました。

本会からの今年度の取扱計画や生産販売の重点方針、信州ブランドの信頼強化を図る等の方針説明の後、卸売会社の代表3社より、共通のテーマとして「卸売市場法改正に伴う今後の市場機能変化と将来性、及び産地に期待すること」の提言がありました。

東京青果(株)川田一光社長は「卸売市場が重要な社会インフラと認識されたとわれ、卸売市場法自体は基本的なところは大きく変わらないと認識する。ただし、開設者が定める詳細の条例は未だ決まっていないため、詳細は公表出来ない。地域により特徴ある内容になるだろう。これを受け産地に期待することは、安全安心な農産物を生産出荷いただくことに尽きる」と提言がありました。

大果大阪青果(株)中内良一社長は「条例は、現在調整中であり11月頃に決定する見込み。取引量が増える可能性があるが極端な動きにはならないと考えている。出荷された商品をあらゆる機能を使って売っていく。厳しいがしっかりと生産振興をして作られたものは市場へ出荷して欲しい」と提言されました。

(株)なにわ花いちば大西進会長は「花きの場合、既にオール買参制で同業者、小売りにも販売する。法改正により、特に仲卸は市場の出方を注目しており市場として危機感はある。現状大きな生産者団体であるJA／全農にフォロウの風が吹いていると考える。全農全体で夏の2年毎に品評会をやったら生産者に箔がつく。稼いだ人に表彰状を挙げてよい。生産者を育成するため意欲喚起につながる仕組みを作るべき」と提言がありました。

信頼される信州ブランドの確立を目指して主要取引会社と情報交換 令和元年度長野県青果物・花き取引会議



湯本豊協議会長の開会挨拶

「現場をよく知り改善できるのは家庭薬配置員である」との考え方から、家庭薬配置員の事業への参画意識を高め、優れた提案に対し表彰制度を設け、家庭薬配置員のモチベーションアップと事業の活性化をはかる「提案制度」があります。30年度に家庭薬配置員より提案のあった内容について、建設的かつ具体的であり家庭薬事業の新たな推進方策として事業改善につながる優れた提案と認められた10件を「優秀賞」「優良賞」「アイデア賞」とし、表彰しました。



優秀賞の清沢配置員（右）と優良賞の澤波配置員（左）



JA全農長野の西澤孝典業務点検・コンプライアンス部長によるコンプライアンス研修

長野県クミアイ家庭薬協議会は5月27日（月）、JA長野県ビルで「配置員全体会議」を開催しました。

令和元年度の取組みに当たったの意思統一やコンプライアンス研修によるリスク管理等についての再確認、薬事・品目推進についての研修を通じた提案力の向上を目的とし、来賓に長野県健康

康福祉部薬事管理課の太田靖課長、全農くらし支援事業部の青木武美専任課長、協同薬品工業(株)の飯澤敦宮営業本部長など5名を迎え、家庭薬配置員42名と関係者を合わせ、約60名が出席しました。

◆研修とスローガンの確認
品目推進についての研修では、「黒酢プラスの試飲のすすめ方」の一例を動画や実演で学び、現場での様々な状況に応じたコミュニケーションについて意識を深めました。従来の医薬品の入替から、お客様の健康づくりの提案活動へのシフトをはかる上でも、提案

今後も、JAとの連携を強化するとともに組合員・お客様との信頼関係を深め、クミアイ家庭薬の普及を推進し、「組合員のくらしと健康をふれあいで守る架け橋」となるよう、努めてまいります。

クミアイ家庭薬「配置員全体会議」

能力の向上は今後ますます重要になってきます。

最後に、計画必達に向け出席者一丸となって取り組むべくスローガンを確認しました。

酒米の新品種 信交酒545号 (山恵錦)本格デビュー

長野県とJA全農長野は5月20日(月)、県が開発した酒造好適米の新品種「信交酒545号(山恵錦)」を使った日本酒の新酒お披露目を長野市内で開きました。この米を使った日本酒を作る県内すべての酒造会社27社が40銘柄を披露し、小売酒販売業者や調理師など約150人が試飲しました。

県の阿部守一知事は「今日お集りの皆さんの力を結集して全国に広めたい。ブランド化と販路拡大に全力を傾ける」と挨拶し、産地代表としてJA全農長野運営委員会の雨宮勇会長は「令和元年産酒米は5万9千俵、この内、山恵錦は1,500俵を見込んでいます。耐病性、収量性に優れる山恵錦は産地の期待が大きい」と力を込めました。

「信交酒545号(山恵錦)」は、酒造好適米の最高峰とされる「山田錦」と冷害に強い「ゆめしなの」の系統を交配して育成し、2017年に県の認定品種に採用されました。栽培しやすく(倒伏しにくい)、耐冷性が強い(もち病に強い)収量が多いこと、大粒で心白の発現に優

※心白／米の中心部の白く不透明な部分。心白にはすき間が多いため、麹菌が繁殖しやすく、良質の麹ができる。

れ、碎米の発生が少ないことが特徴で、醸造した清酒は「味巾があり、滑らかさがある」と評価されています。

2017年から本格的に栽培が始まり、同年産は11ha(59・2トン)、2018年産は21ha(89・6トン)と増加しており、主な産地は佐久市、上田市、伊那市、大町市、松川村、信濃町、木島平村です。



試飲する雨宮会長(右)とJA全農長野の小林哲男県本部長(左)

※表紙右上の写真／山恵錦の日本酒で乾杯する関係者(前列／酒造事業者、後列／阿部県知事など出席者)

ギネス参加認定書を拝受 SDGsで企業と連携

「金芽米」や「BG無洗米」などを製造・販売する東洋ライスは2月、米の生産者団体や流通団体などと共に、持続可能な食に関する講義「最大のサステイナブルフードレッスン(複数会場)」の受講者数で、ギネス世界記録に認定されました。長野県からはJA全農長野、佐久浅間、上伊那、松本ハイルランド、あづみの5団体が、東京会場でギネス世界記録に挑戦し、達成に立合いました。

5月17日(金)に東洋ライスの阪本哲生副社長が、全農長野を訪れ、ギネス世界記録公式参加認定証を、小林哲男県本部長に手渡しました。阪本副社長が「米を通して持続可能な社会の実現に向け、長野県JAグループとの一層の関係強化を図りたい」

と挨拶すると、小林県本部長は「持続可能な開発目標(SDGs)は行政も注目する指標であり、本会も協力していきたい」と応えました。

全農長野は東洋ライスと連携し、シンガポール向けの長野米輸出を行うなど、連携を強化しています。



ギネス認定証を持つ小林県本部長(左)と阪本副社長(右)

松本山雅FCホームゲームで 牛乳をPR 6月1日は「牛乳の日」

JA全農長野酪農課は「牛乳の日」の6月1日(土)、松本山雅FCホームゲームで牛乳のPRイベントを開きました。

2014年に販売を開始した「松本山雅牛乳」は松本山雅サポーターに浸透しており、対戦チーム清水エスパルスのサポーターからも「濃くておいしい」「こんな牛

乳があるなんて、うらやましい」と好評で、用意した1,200杯は1時間弱で終了しました。また、牛の全身模型で体験できる「搾乳体験」は、子どもはもちろん大人からも人気がありました。

牛乳は、熱中症[※]予防の効果が期待できます。牛乳を飲んで、夏を元気に過ごしましょう！



牛の模型で搾乳体験



牛乳を試飲するサポーターの皆さん

※牛乳と熱中症予防についての詳細は、[ミルクジャパン](#) [熱中症予防](#) [検索](#) をご覧ください。

松本山雅FCホームゲーム に御嶽海関登場 カレーちゃんこ鍋を振舞い

6月15日(土)、松本山雅FCのホームゲーム(vsベガルタ仙台)に御嶽海関が登場し、JA全農長野とJA松本ハイルランドは来場者に県産農畜産物たっぷりのカレーちゃんこを振舞いました。

野菜はJA松本ハイルランドからご提供いただいたズッキーニ・ブロッコリー・セルリー・ハクサイ、

県内産のえのきたけ・ぶなしめじ・エリンギ・なめこ・白ネギ、豚肉は信州ポークと、食材は全て長野県産を使い、「だしの風味が強め」という出羽海部屋のカレーちゃんこに合い、オリジナルのカレーちゃんこ600食を調理しました。

松本山雅FCのユニフォームを着た御嶽海関が全農長野ブースに立ち寄り、サポーターに囲まれた中でちゃんこ鍋を召し上がると、周囲に人垣ができて盛んにシャッターが切られました。御嶽海関は

ちゃんこを3杯召上がった後、スタジアムでのイベントに登場しました。

最高気温が20℃を下回る梅雨寒の中、サポーターは熱いカレーちゃんこを食べて熱い声援を送りましたが、試合は0対1で惜敗しました。



新採用職員紹介

【生活課 燃料・ホームエネルギー課 ^{こみやま えな} 込山 瑛那】

初めまして。4月から入会いたしました、燃料・ホームエネルギー課の込山瑛那と申します。出身は長野市で、Uターン就職いたしました。庶務や石油業務を担当しています。

特技は小学3年生の頃から始めたバレーボールです。まだまだ未熟で慣れないことが多いですが、1日でも早く一人前の職員になれるよう頑張りたいと思います。



乙4種の試験がんばります！

【東信事業所 野辺山駐在所 ^{なかむら たいち} 中村 太治】

野辺山駐在所の中村太治と申します。出身はキノコの産地中野市です。正直キノコは苦手なのですが、いつか克服したいと思います。学生時代はサッカー一筋で、7年ぶりに長野に帰ってきました。日々学ぶことが多く大変ですが、この環境に感謝し、素晴らしい先輩方の指導を受け、農家さん、そして長野県のために精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



標高JR最高駅のある野辺山で頑張ります！

A-Board

きのこ課からのお知らせ 長野県JA産きのこ キャンペーン開催中！

きのこを冷凍保存して活用しませんか？
キャンペーン特設サイトでは、冷凍きのこの作り方、レシピを公開中です。

◆「信州三ツ山マーク」を4枚集めて応募！

抽選で、信州アルプス牛、ナガノパープル、シリコーンバッグセット、Wチャンスできのこセットが当たります。

◆WEBで応募！

特設サイトからクイズに答えて応募すると、抽選でオリジナルカードが当たります。

詳しくは、JA全農長野 きのこキャンペーン

検索

または



へ！

皆様からのご応募をお待ちしています！



農業生産用燃料への支援対策強化について

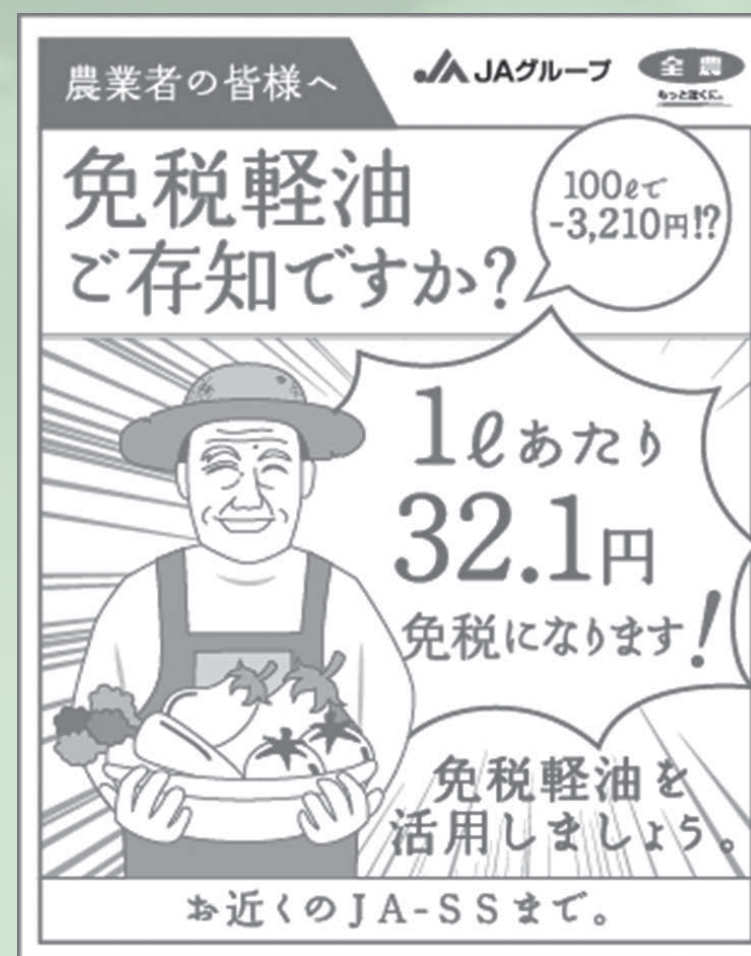


JA 燃料拠点から農業生産用燃料を配達します

JA全農長野は、JAと一体となって担い手農家等を支援し、生産基盤の維持・拡大と石油事業の利用向上を図るため、農業生産用燃料への支援対策を実施しています。
特に近年は、原油価格の高止まりにより燃料コストが増大しており、JA

の使命として求められている「安定・安価な農業生産用燃料の供給」の対応が重要となっています。
全農長野では、これまで秋冬期に需要期を迎える灯油・A重油について対策を実施しており、JAにおいては、全農長野の対策に加えてJA独自の対

策を上乗せした価格を設定して、生産農家への支援を展開してきました。
平成30年度においては、自己改革強化策に基づき農業生産用燃料への支援対策強化として、灯油・A重油の支援対策に加え、新たに軽油について対策を実施しました。5月から11月の期間



◆農業生産コスト低減に向けては、 免税軽油制度の活用も有効です。 免税軽油とは…

・軽油には、1リットルにつき32.1円の軽油取引税が含まれている。一定の要件のもとに、軽油取引税が免除された軽油のことを免税軽油という。
・農業を営む者（農作業のうち基幹的な作業の全ての委託を受けて農作業を行うものを含む）が、特定の用途に使用する場合に限って、免税軽油を使用することができる。

において、全農長野とJAが一体となり県下合計で約2,000キロリットルの軽油を供給しました。
対策を活用し多くのJAが農家支援を展開することにより、生産基盤の維持・拡大に一定の成果がみられたことから、平成31年は農繁期を迎える3月から軽油支援対策を始め、令和元年11月まで支援を展開する予定です。

出羽海部屋が 木曾合宿 県産農畜産物を贈呈

JA木曾とJA全農長野は、御嶽海関の地元木曾で6月20日（木）から22日（土）に合宿をする出羽海部屋に、県産農畜産物を贈りました。19日（水）の歓迎式典の中で贈呈式があり、JA木曾の田屋万芳組合長とJA全農長野の佐藤利久管理部長が目録と農畜産物のカゴ盛りを手渡しました。

贈呈したのは、JA木曾産の木曾牛6kg、御嶽はくさい2ケース、御嶽ぶなしめじ2ケースをはじめ、県産のキャベツ、グリーンボール、レタス、ズッキーニ、セルリー、アスパラ、ブロッコリー、えのきたけ、なめこ、エリンギ、飲むヨーグルトの合計160kg。御嶽海関は「地元での合宿は大変うれしい。有意義な合宿を過ごしたい。皆さんの声援が力になるので、今後も応援をお願いします」と感謝しました。



JA全農長野の事業現況▶

令和元年度 5 月末部門別実績表 (単位：百万円、%)

部門	区分	実 績	計画比	前年比
野菜種苗センター		62	101	101
生産振興部計		62	101	101
米	穀	2,920	99	101
果	実	271	94	82
野菜	花き	3,492	78	82
きのこ		2,486	112	118
営 業		963	85	98
生産販売部計		10,132	92	96
包装資材		1,018	93	119
生産資材		2,761	100	86
農業機械		1,387	108	94
施設住宅		429	124	69
生産購買部計		5,596	102	91
畜 産		2,343	112	107
三 岳 牧 場		55	109	102
SPF 繁殖センター		52	104	99
酪 農		2,671	97	97
ハ ケ 岳 牧 場		41	104	102
畜産酪農部計		5,164	104	102
燃料・ホームエネルギー		4,364	113	106
S S 協 同 経 営		2,026	108	102
生 活		2,129	104	102
生活部計		8,518	110	104
長野県本部計		29,472	100	98

(内部販売高含む)

7月の動き▶

7月13日(土)	松本山雅FCホームゲームイベント(スイカPR) サンプロ・アルウィン(松本市)	総務広報課
7月19日(金)・20日(土)	JA農機&資材フェスタ エムウェーブ(長野市)	農業機械課
7月25日(木)・26日(金)	信州フラワーショー サマーセレクション JA長野県ビル(長野市)	野菜花き課
実施中～ 8月12日(月・振休)	長野県JA産きのごキャンペーン	きのご課
実施中～ 8月18日(日)	長野県産夏やさいキャンペーン	野菜花き課

7月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
7月24日(水) 11:50	SBSラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「暮らしの応援団」	野菜花き課出演
毎週火曜日 16:10	SBSラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	信州の牛乳・乳製品に関する様々な情報をお届け。リスナープレゼントもあります。

編集後記

今年の梅雨入りは、6月7日と平年より1日早いとのこと。春先からの天候不順、梅雨に入ってから気温の変化は、私たちの健康管理はもとより農作物への影響は大きくかわってきます。夏至も過ぎ、風景は青々と育った稲・野菜などの成長と木々の緑により、明るい風景へと変わっています。環境関係関係会合が軽井沢で開催されました。地球規模の課題もまずは足元から、農業の果たす役割は大きなものであると認識するしだいです。

先場所(5月場所)勝ち越した御嶽海は、6月19日から22日まで地元に戻り出羽海部屋木曾合宿を行い、大盛り上がりでした。また、信州農畜産物を提供し食を通し合宿を支援しました。準備万全で名白屋場所(7月7日初日)を迎えることでしょう。郷土力士を皆で応援しましょう!!

(Y)

A-Board

農業機械課からのお知らせ

「JA農機 & 資材フェスタ2019」 ～令和元年～JAは農業のベストパートナー」のご案内

年に一度のビッグイベント!!

今年も「JA農機&資材フェスタ2019」を開催します。

- 日 時 7月19日(金)AM9:00～PM4:00
7月20日(土)AM9:00～PM3:00
- 会 場 長野市オリンピック記念アリーナ エムウェーブ
- 主 催 長野県農協生産資材事業推進協議会
- 後 援 長野県・JA全農長野
- 入場料 無料

【注目ポイント】

- 会場内大型スクリーンにより、時代をつなぐ新たな農業の実現に向けたスマート農業の情報を発信します。
- 長野県による「スマート農業導入加速化研修会」も同時開催。滋賀県の農業生産法人「フクハラファーム」様による講演も行います。
- 生産者1万人の声を反映した「共同購入トラクタYT357J,Z」と、JA農機担当者が現場の声から厳選した「JA長野県推奨5型式」を一同に展示!!
- 生産振興コーナーでは、ネギ機械化一貫体系やカットドレンによる排水対策などの注目技術を発信!!
- 会場外では、草刈作業に新提案「ラジコン草刈機」や注目を浴びる「ドローン」の実演を実施します。
- 農機メーカー、生産資材メーカーなど数十社のご協力をいただき、最新農業機械の展示即売はもちろん、肥料、農薬、農業資材、生活事業、くらしのサポートまで、幅広くご案内します。

皆様のご来場をお待ちしています!!

裏表紙も
ご覧ください!!



野菜花き課からのお知らせ

第51回信州フラワーショー サマーセレクション

全国一の生産量を誇るカーネーション・トルコギキョウ・

アルストロメリアをはじめ、キク・スターチス・

グラジオラス・ユリなど約500点が県内から出品され、

品質や栽培技術を競います。

皆様のご来場をお待ちしています。



- 開 催 日 令和元年7月25日(木)～26日(金)
- 一般公開 7月25日(木) 午後3時～午後6時
7月26日(金) 午前9時～午後2時(午前11時～褒章授与式)

○会 場 JA長野県ビル「アクティールホール」

○実施内容 (1)品評会(切花、花木)

(2)展示会

①フラワーアレンジメント ②種苗会社による品目・品種紹介 ③花き関連新資材・機器

(3)花の販売

①品評会出品展示品…一般公開時に予約販売を行います。ご予約いただいた花は、一般公開終了後の26日(金)午後2時よりお渡しします(午後4時まで)。

②信州産の花を使った花束・アレンジ等…一般公開時に花束・アレンジメント等を即売します。

23rd JA農機&スタ 資材フェスタ 2019

～令和元年～
JAは農業のベストパートナー

7月 **19日** 金
AM9:00～PM4:00

7月 **20日** 土
AM9:00～PM3:00

入場無料!!
皆様のお越しを
お待ちしております。

開催場所
エムウェーブ
(長野市オリンピック記念アリーナ)

来場者5,000名以上
年に一度のビッグイベント!!

～時代をつなぐ
新たな農業の
実現へ～

**会場内大型スクリーンにより
スマート農業を提案します!!**

タイムスケジュール

時間/日付	7月19日(金)	7月20日(土)
11:00～	三菱農機	長野県主催 研修会
11:30～	中セキ	
12:00～	クボタ	ヤンマー
12:30～	ヤンマー	中セキ
13:00～	長野県主催 研修会	クボタ
13:30～		三菱農機
14:00～	NTTデータ	

各演題内容

長野県	「スマート農業導入加速化事業の概要」 講師:長野県農政部農業技術課 「スマート農業技術の導入効果と課題」(仮題) 講師:滋賀県農業生産法人 有限会社 フクハラファーム 代表取締役会長 福原 昭一氏
中セキ	農業を新たなステージへ ISEKIスマート農業
クボタ	クボタが考えるICT農業
ヤンマー	ドローンを活用したICT農業“ヤンマーリモートセンシング”
三菱農機	GPSナビが持ちの機械に後付け可能!しかも低価格!
NTTデータ	産地一体で進めるデータ活用スマート農業

※掲載中の情報は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。写真は全てイメージです。

●主 催 長野県農協生産資材事業推進協議会
●後 援 長野県・JA全農長野

信州 光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」..... <https://www.ja-town.com>

